

平成 30 年度

第 3 回「あいパル」運営委員会報告

日 時：平成 31 年 3 月 19 日（火）19:00～20:30

場 所：上戸田地域交流センター「あいパル」 研修室

出席者：上戸田町会連合会 4 名、本町商店会 1 名、一般公募 2 名
サポーターズ倶楽部会員 2 名、戸田市 4 名（福祉総務課、協働
推進課、生涯学習課 公民館担当、生涯学習課 図書館担当）、指
定管理者「フレンドシップ上戸田共同事業体」 3 名
以上 計 16 名（欠席 0 名）

開会あいさつ

1 回、2 回とフリースペースの利用ルールとその周知方法について協議してまいりました。本年度最後の今回は、より具体的に効果的な周知方法を協議します。多くの方が使いやすく居心地が良いと感じられるあいパルを目指して忌憚のないご意見をお願いいたします。

議題 1：フリースペースの利用方法の掲示について

●多世代に渡り、多目的に多くの方が利用するスペースであるので、周囲に配慮し、誰もが気持ち良く利用するためには、ある程度のルールは必要となります。禁止事項が増え、禁止ポスターばかりにならずに、利用者にとっても印象が悪くならない掲示物を皆さんと協議します。
まずは、あいパルから提案したポスターをベースに、より良いものにしていきます。

<協議内容>

- ・フリースペースだけでなく、あいパル全体として考えるなら、公共施設として宗教や政治についても掲示すべきか。
- ・これまでフリースペースで行われた行為のうち、公共の場としてふさわしくないと判断できることを上げているが、宗教や政治についての事例はなかった。
- ・具体的な禁止行為を並べていくと増えてしまい、表示していない行為に対しては「そんなことどこに書いてあるのか」という人がいてきりが無い。
- ・窮屈な施設にはしたくないので、必要最低限のルールにして、有料貸室（貸室にもルールはあるが）という選択肢があることを案内できる。
- ・普通の人は常識範囲内で使っているだろうが、使い慣れてくると自分の居場所となり、公共の場ではなく自宅のような感覚になってくるのではないか。
- ・ほとんどの方は貼り紙がなくても常識的に使ってくれている。
- ・1 階のカフェのテーブルはそのようなことはないのか。
- ・カフェのテーブルでは飲み物、軽食、おしゃべりなど比較的混み合っているのに、落ち着いたのか長居はない。
- ・職員の目が行き届いていることもあるのだろう。
- ・きちんと使っている方にとっては、貼り紙は気分が良いものだろうか。
- ・貸室のご利用をご検討くださいではどうか。
- ・「仕事の打合せ」とあるが、スーツ姿の方の場合、友達であっても商談に見えてしまうし、おしゃべりとワークショップの違いも突っ込んでくる人はいる。
- ・利用にあたっては、ルールを説明した書類をつくり、同意していただくため印鑑の押印をしてもらえれば、守ってもらえるのではないか。

- ・子育て世代として、常識があればフリースペースでパーティーはしないが、してしまう人はいると思う。周りの状況が見えていない人は増えている。個人的には知ってもらうために、掲示は必要である。
- ・確かに、悪気なくやる人もいる。パーティーは3年半の間に複数回あった。
- ・昭和の時代に学んだ常識が通用しなくなっている。何かやっても逆手にとられてしまうので、記名式で約束に了承してもらうのも一つの方法である。
- ・有料貸室の場合は利用登録時にルール案内をお渡ししているが、フリースペースはふらっと来て使用できるスペースであり、届出の手続きが必要となると管理するための時間と人手が必要になる。
- ・プリムローズの場合、子ども達は入館時に名前を書きますが、ない方が使い易くて良い。
- ・「できません」ではなく、「〇〇は貸室をご利用ください」にすれば良いのではないか。
- ・フリースペースでできること、貸室でできることに分けて例示すると良い。
- ・針がダメということは編み物もいけないのか。歌う・踊るは禁止事項に必要なのか。
- ・楽器もだめだとゲームはどうか。
- ・ゲームについては、現状は音出しを禁止している。
- ・大きな音を禁止としたらどうだろうか。
- ・読書などとなっているが勉強を入れなかったことには何か意図があるのか。
- ・静かに勉強ができる場所ではないため、落ち着かない環境であることを了承して勉強してもらうことは構わない。
- ・仕事の話はしてはいけないのか。
- ・福祉のための施設なので、フリースペース、カフェともに仕事の話では利用いただけない。

- ・前回、前々回と協議しているが、何もしないことも一つの方法である。トラブル発生時に対処することにして、掲示しなくても良いのではないか。
- ・開館当初は何もルールがなかった。判断する材料がないと、その都度、対応を悩むことになる。将来的にはルールがなくても誰もが気持ち良く使える施設にしていきたい。
- ・フリースペースという呼び方だと、何でもありになってしまうので、「市民憩の場」などにすれば、使い方が変わってくる。
- ・新曽ではコミュニケーションスペースと言っている。使い方の貼り紙をしたことにより、職員がしばられてしまうことにもなる。
- ・あいパルのフリースペースであるから、多世代交流を目的とすることを掲示すると良い。
- ・「あいパルのフリースペース」の考え方(多世代交流を目的)を掲示するのが良いのではないか。
- ・若い世代には意味合いがわからないことがあるので、各世代の常識を伝えたら良い。

議題2：高齢者サロンの高齢者優先席について

- 高齢者サロンの掲示を分かりやすくして、高齢者優先であることを周知し、譲り合って使用できるようにする
- ・高齢者サロンが混み合っている時には、ご高齢の方に席を譲っていただけるよう放送を流してお知らせし、様子を見るようにします。
- ・混んで来たら率先して席を譲っていただくのが良いので、いくつかの案を用意した。どれが良いか、また別にアイデアがあればお願いしたい。
- ・高齢者の決められたマークがあるか。
- ・もみじマークは運転法の意味合いなので使えない。

- ・案として見ていただいて、デザインと色を決定したい。
- ・電車等の乗り物の専用のマークはないのか。
- ・マークがつくことで、遠慮していつも空席になってしまいかねない。
- ・現状はテーブルにカードスタンドで高齢者優先席と表示していますが、効果があるとは言えません。
- ・絵だと頭に入りやすい。
- ・これも常識の問題だが。
- ・そもそも優先でなくとも譲ってあげてほしい。
- ・やるだけやってみるのが良い。
- ・「高齢者優先席」より「ゆずりあい」と表記したほうがよい。
- ・確かに漢字6文字が並ぶと威圧感がある。
- ・高齢者の定義も難しい。
- ・色はグリーンでよいか。
- ・ピンクのハート型はどうか。
- ・高齢者サロンであることがわかりにくいこともあり、柱にサインをつける。
- ・こちらもピンクにすると温かみがあってよい。
- ・本日はいただきましたご意見を参考にすすめていく。
- ・テーブルを増やすことは、どうなっているか。
- ・増やせるように希望を出している。

<協議の結果>

- ・高齢者サロンのテーブルに、高齢者優先のサインを掲示する
- ・柱に高齢者サロンの表示を大きく掲示する
- ・混雑時には館内放送して、周知する
- ・「フリースペース」という名称は「フリー(自由)」に何でもできると勘違いされかねないので、今後は使用しない。
「共有スペース」「コミュニケーションスペース」など

議題3：あいパル運営委員会 会則の変更について

●会則(3)(4)の「再任はできない」を(1)と同様に「再任を妨げない」と変更を提案する。当初は多くの方が参加できるように規約が策定されたが、応募が少ないこと、一年より複数年会議に参加していただいたほうが利点が多い

- ・本「あいパル」運営委員会の会則の任期について、(1)は妨げないとある。(3)(4)の任期は妨げるとなっている。当初は委員応募者が多数あれば特定の方の任期継続が公平性を妨げると考えていたが、一年で交代するより複数年継続していただければ利点が多いと考える。
- ・公開抽選もいらぬのではないか。
- ・当初は、偏らずにいろいろなサークルに関わっていただくために公開抽選にしたが現状は希望サークルが少ない。

閉会あいさつ

本年度最後の委員会が無事に終了しました。委員の皆様におかれましては、一年間ご尽力ありがとうございました。一年間かけて、共有スペース(多世代交流スペースや高齢者サロン)の利用方法について、活発なご発言をいただき協議することができました。協議した内容を今後の施設運営に生かし、思いやりと譲り合いの気持ちが「あいパル」に広がり、公共施設の利用マナーが向上されるように、職員一同努めてまいります。今後ともよろしく願います。